

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.181(令和2年6月)

梅雨に入り、湿度が高く、むし暑い季節になってきました。マスクをしていると、口内は潤っているため、喉の渇きを意識しづらくなると聞きます。こまめに水分補給をして、新型コロナウイルス感染症だけでなく熱中症にも十分にご注意ください。

今回は、6月2日に行われました『第6回 土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会』と、6月18日に行われました『河川功労者表彰伝達式』について報告します。

○土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

6月2日(火)に「第6回 土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Web会議システムを用いて実施しました。

本協議会は土器川で氾濫が発生した場合に備え「水防災意識社会」を再構築することを目的としており、構成員(丸亀市長、坂出市長※、善通寺市長※、宇多津町長※、琴平町長※、多度津町長、まんのう町長※、香川県危機管理課長※、香川県河川砂防課長※、香川県中讃土木事務所長※、高松地方気象台長、国土地理院測量部長、香川河川国道事務所長)、アドバイザー(香川大学名誉教授 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構顧問の白木先生)及び事務局担当者の21名が参加しました。(※代理により出席)

今回の協議会では、「規約改定」、「令和元年度 取組状況の報告」、「土器川の減災に係る取組方針の改定」、「今後の取組予定」について説明と協議を行い、承認を得て決定しました。



開会挨拶 (香川河川国道事務所長)



情報共有状況



参加者との意見交換状況



アドバイザーとの意見交換状況

○令和2年度 河川功労者表彰伝達式

6月18日（木）、令和2年の河川功労者表彰受賞者である香川大学名誉教授の金子之史様への伝達式を香川河川国道事務所で開催しました。

河川功労者表彰は、公益社団法人日本河川協会が昭和24年に創設した治水、利水、環境等で広く社会に対し功績のあった方々に授与するもので、これまでに4,037の個人及び団体が表彰を受けています。今年度は、全国で総数101の団体や個人が表彰されております。

この度受賞された金子之史様は、平成9年から河川・溪流アドバイザー、平成22年から土器川流域学識者会議の委員として約23年間にわたりご協力いただいております。土器川の河川環境の保全に期する哺乳類等の調査、外来種に関する対策検討、河川整備計画の策定など、河川事業推進に貢献されました。

伝達式では、自身が初めて土器川を訪れた際の話や、河川を管理するにあたって人間の生命と財産を守ることの大切さ、またそれと同時に河川がもたらす「生態的な環境」や「経済活動、地域文化をはぐくむ上での様々な恩恵」との共存を図りながら事業を進めていくことの大切さについてお話してくださいました。

今後も金子先生のご指導の下、自然豊かな土器川を守り続けたいと思います。



土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1619(工務第一課直通) FAX:087-821-1713

